

# 議会だより



## 第57号の掲載内容

- 第1回定例会の概要…………… 2 P～4 P
- 一般質問…………… 4 P～6 P
- 委員会の活動…………… 7 P
- 議会の行事…………… 8 P

鹿部小学校入学式が4月7日に執り行われ、今年男子19名、女子12名が入学しました。

これから小学校生活を送る新1年生の皆さんは、緊張した表情でお話を聞いていましたが、上級生の皆さんに温かく迎えられ笑顔がこぼれていました。

# ～平成26年第1回定例会～

## 平成26年度一般会計予算可決 28億8,400万円

一般会計の当初予算規模は、前年度当初予算対比で5億500万円(14.9%)の減となりました。減額の内容は下記のとおりです。

各会計予算については、表1のとおりです。また、平成26年度予算の概要については、広報しかべ4月号に掲載しておりますので省略いたします。

### 主な減額内容

- ひまわり団地建設工事請負費の減
- 一般廃棄物埋立処分地整備工事請負費の減

平成26年第1回定例会は、3月11日に招集され、会期を4日間と決め、平成26年度の町行政執行方針及び教育行政執行方針が述べられ、その後2名の議員が一般質問を行いました。今定例会は、平成26年度一般会計予算及び特別会計予算等の議案5件について、議長を除く議員全員で構成する予算審査特別委員会に付託され、慎重な審査の結果いずれも原案どおり可決すべきものと決定され、委員長報告のとおり可決されました。また、上記5件のほかに平成25年度各会計補正予算案など19件の審議を行い、計24件全て原案のとおり承認、可決し、会期を1日残して閉会しました。

表1

単位：千円

会計別	年度別	26年度	25年度	増減額	増減率
一	般 会 計	2,884,000	3,389,000	▲ 505,000	▲ 14.9%
特 別 会 計	国民健康保険	927,903	933,601	▲ 5,698	▲ 0.6%
	介護保険事業	388,308	373,819	14,489	3.9%
	後期高齢者医療	42,304	41,101	1,203	2.9%
	小 計	1,358,515	1,348,521	9,994	0.7%
水 道 事 業 会 計		138,185	140,084	▲ 1,899	▲ 1.4%

※水道事業会計は、収益的支出と資本的支出の合計額です。

### 承認

◆平成25年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告の承認について

地方自治法の規定により、平成25年12月27日付けで専決処分したもので、歳入歳出それぞれ13万5千円を追加し、予算総額を37億7千7百89万3千円としました。内容は、去る12月26日に七飯町で開催された北海道中学校スキー大会渡島地区予選において、3年生男子が全道大会への出場権を得たことから、1月15日から釧路市で開催された全道大会への参加助成金として13万7千円を追加したものです。

◆平成25年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告の承認について

地方自治法の規定により、平成26年2月21日付けで専決処分したもので、歳入歳出それぞれ3百万円を追加し、予算総額を37億8千89万3千円としました。

内容は、2月21日時点での除排雪稼働率が約95%に達し、今後も湿った重い雪

の降る日が予想され、冬道の安全確保の観点から除排雪経費3百万円を追加したものです。

### 条例

◆消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

内容は、消費税法の一部が改正され、4月1日から消費税率が5%から8%に引上げられることに伴い、使用料等へ適切に転嫁するため制定したものです。

◆鹿部町給水条例の一部を改正する条例の制定について

内容は、消費税法の一部が改正され、4月1日から消費税率が5%から8%に引上げられることに伴い、水道使用料等に係る消費税率の改正のため一部改正したものです。

◆鹿部町子ども・子育て会議条例の制定について

内容は、平成24年8月に成立、交付された「子ども・子育て関連三法」に基づき、平成27年度からの実施を目指す「こども・子育て支援

新制度」の準備のため、本町においても子育て支援に  
関する施策の総合的、かつ、  
計画的な推進に関する事項  
を調査、審議するための組  
織を鹿部町子ども・子育て  
会議として設置するため制  
定するものです。

◆鹿部町特別職の職員で非  
常勤のもの報酬及び費  
用弁償に関する条例の一  
部を改正する条例の制定  
について  
内容は、非常勤特別職の  
報酬について、鹿部町学校  
支援実行委員会委員を削除  
し、前項の鹿部町子ども・  
子育て会議条例に規定する  
委員を追加する改正です。

◆鹿部町国民健康保険税率  
例の一部を改正する条例  
の制定について  
内容は、国民健康保険事  
業勘定特別会計の累積赤字  
が平成24年度末に1億6千  
万円に達し、極めて厳しい  
状況にあることから、財政  
健全化を図り、安定した事  
業運営を行うため国民健康  
保険税の税率を改正するも  
のです。

◆鹿部町社会教育委員に関  
する条例の一部を改正す  
る条例の制定について

内容は、国の第三次一括  
法により社会教育法の一部  
が改正されたことに伴い、  
国で定めていた社会教育委  
員の委嘱の基準について、  
市町村の条例で定めること  
となったため改正するもの  
です。

◆鹿部町山村広場設置条例  
の全部を改正する条例の  
制定について  
内容は、山村広場グラウ  
ンドの町外者の利用につい  
て有料化とする改正です。  
料金は、1時間につき1  
千6百20円となっています。

## 補正予算

◆平成25年度鹿部町一般会  
計補正予算について  
歳入歳出それぞれ9千百  
1万2千円を減額し、予算  
総額36億8千9百88万1千  
円としました。

内容は、予算の精査によ  
るもので、工事請負費等の  
入札減及び各科目の執行見  
込による減額が主なもので  
す。

一方追加は、灯油単価等  
の高騰による各施設等の燃  
料費合計2百6万4千円が

主なものです。

◆平成25年度鹿部町国民健  
康保険事業勘定特別会計  
補正予算について  
歳入歳出それぞれ6百91  
万7千円を減額し、予算総  
額11億5百72万6千円とし  
ました。

内容は、予算精査による  
執行見込の減額が主なもの  
です。  
一方追加は、一般被保険  
者療養給付費8百32万1千  
円、一般被保険者高額療養  
費2百30万3千円の追加で  
す。

◆平成25年度鹿部町介護保  
険事業特別会計補正予算  
について  
保険事業勘定では、歳入  
歳出それぞれ7千5百79万  
3千円を減額し、予算総額  
2億9千7百93万5千円と  
しました。

内容は、予算の精査によ  
る執行見込の減額が主なも  
のです。  
一方追加は、介護保険シ  
ステム改修委託料74万6千  
円の追加です。

サービス事業勘定では、  
歳入歳出それぞれ29万円を  
減額し、予算総額百10万7  
千円としました。

内容は、介護予防支援事  
業委託料38万8千円の減、  
一般会計繰出金9万8千円  
の追加です。

◆平成25年度鹿部町後期高  
齢者医療特別会計補正予  
算について  
歳入歳出それぞれ18万1  
千円を減額し、予算総額4  
千百27万9千円としました。

内容は、予算の精査によ  
る執行見込の減額が主なも  
のです。

## 契 約

◆工事請負契約の締結につ  
いて（ひまわり団地B棟  
新築工事（建築主体））

【工事名】

ひまわり団地B棟新築工  
事（建築主体）

【契約金額】

4億4千8百20万円

【契約の相手方】

森川・星組渡辺・佐藤工  
務店特定建設工事共同企業  
体

◆工事請負契約の締結につ  
いて（ひまわり団地B棟  
新築工事（機械設備））

【工事名】

ひまわり団地B棟新築工

事（機械設備）

【契約金額】

7千7百22万円

【契約の相手方】

昭栄設備工業株式会社

## 発 議

◆特別委員会の設置につ  
いて

内容は、現在本町におい  
て、しかべ間歌泉公園周辺  
整備基本構想が策定中であ  
り、議会においてもこれに  
対処し、観光振興の推進を  
図るため特別委員会を設置  
するものです。

【名称】

観光開発特別委員会

【設置の理由】

しかべ間歌泉公園周辺整  
備等調査のため

【構成人員】

議長を除く全員

【活動期間】

調査が終了するまで、ま  
た、議会閉会中も継続し調  
査等を行う。



その他

◆資源ごみ及びし尿等の処理に係る森町への事務委託について

本町の資源ごみ及び、し尿・浄化槽汚泥の処理については、例年森町へ委託しており、平成26年度についても森町へ委託することから、議会の議決を求めたものです。

◆定住自立圏形成協定の締結について

内容は、平成25年第4回定例会において可決した、「鹿部町定住自立圏の形成に係る議会の議決に関する条例」に基づき、函館市を中心市として協定を締結するものです。

◆北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

内容は、本町が加入している北海道市町村職員退職手当組合において、組織する地方公共団体の変更があり、地方自治法の規定により、組合組織団体の協議が必要となったものです。

【以上24件原案どおり可決】



川村裕司 議員

鹿部バイパスの取付け道路等について

昨年3月、鹿部バイパスの取付け道路について質問致しましたが、コンサルタント会社からの提言を含め内容を精査し検討するということでしたが、その後どこまで進んでいるのか、お伺い致します。

また、避難道路として考えた場合、鹿部バイパスの街路灯が不足していると思われるのですが、どのように考えているのか、併せてお伺い致します。

■鹿部町道路整備計画に取付け道路の整備を盛り込んでいるが、整備に至るまでは相当な時間がかかる。

■街路灯については、函館開発建設部へ要望書を提出しているが、改めて強く要望する。（答弁者）

川村 茂 町長



■鹿部バイパスの取付け道路につきましては、昨年3月の第1回議会定例会で川村議員から質問を受け、議員がおっしゃるとおり、津波避難計画の策定を委託しているコンサルタント会社からの提言を含め、精査検討する旨の答弁をしております。

は、津波避難計画を策定したコンサルタント会社から具体的な取付け箇所についての提言は受けておりませんが、津波災害により、町内全体で保有する軽四トラックなどを含むすべての車両で一斉に避難した場合に渋滞あるいは混雑する状況の予測解析をして頂いております。

この解析によりまずと、字鹿部の町道水源地道路線の現国道から鹿部バイパスまでの間、字本別の町道本別4号線、この町道は、現国道と鹿部バイパスの間に2本の道路がありますが、これら路線が渋滞をすれば、この予測調査報告を受けております。

かしながら、今後連続照明を必要とする特別な状況等となった場合は、協議に依拠ることとしてしているところであります。

町と致しましては、先程の4箇所以外の既存の取付け道路との交差点、具体的に

は、町道水源地道路線、宮浜道路線、留の沢線、本別4号線2箇所の計5箇所の

交差点部分の街路灯の設置について改めて要望することとしておりますが、駒ヶ岳噴火を考えれば、第一次

避難区域である字本別地区の照明設備の整備は必要であると考えておりますので、

私としては、今後も函館開発建設部に対し強く要望して参りたいと考えております。

■再質問、再々質問の要約 (質問者)

川村 裕 司 議員

今日で東日本大震災から3年を迎えます。最近テレビでも良くやっていますが、普通の場合から見ると川沿いの方が何倍も被害に遭っているのです、その辺を考えて取付け道路を考えて頂き

たい。また、コンサルタン卜会社から、もう少し進んだ意見が欲しかったと思います。

町政執行方針の中でもおっしゃってりましたが、看板も町独自で付けて頂きたいと思えます。

街路灯ですが、北海道開発建設部とのやりとりがあると思えますが、避難道路

として考えた場合には、もっと積極的に多くの街路灯を付けて頂ければ町民も安心して避難できると思えますが、いかがでしょうか。

■再答弁、再々答弁の要約 (答弁者)

川村 茂 町長

まず、東日本大震災から3年を経たということ、映像を見ますと川村議員言われるように川沿い等の部分は、被害が甚大であるというふうに認識しております。この部分は道路整備計画の中で十分に検証を行って参りますが、取付け道路は場所によつては、時間、また多くの費用がかかりますので、精査をして優先順位を検討しながらやって参

りたいと思っております。看板の関係ですが、新年度予算に盛り込んであります。川村議員が言われている箇所に設置するかは現在承知しておりません。この看板類につきましては、町民の道路でありますので、しっかりと参りたいと思っております。

街路灯の関係ですが、できれば開発建設部でやってもらいたい、色々と協議してありますが、基準に合わないということ言われております。ただ、先程の5箇所の部分については、

これからまた要望する中で更にしっかりと要望して参ります。

また、出来瀬本別地区の部分については、津波だけではなく駒ヶ岳噴火の部分もありますので、北海道開発建設部の方が駄目だと言つても、鹿部町として必要であればやらなければなら

ない部分になって来ると思つておりますが、この街路灯につきましては、多額の費用がかかることでありますので、精査しながら検討して参りたいと思つています。



船橋敦子 議員

### 人口の減少について

ご質問は、人口減少対策ということですが、議員ご指摘のとおり人口の減少は全国的な問題であり、本町におきましても人口減少、少子高齢化は大変重要な政策課題の一つであり、その政策分野は多岐にわたるものであります。

まず、本町の人口であります。昭和60年をピークに緩やかな減少傾向が続いており、議員ご指摘のとおり5年前と比較して、393人の減少で8.36%の減少率であります。

なお、国内の状況であります。国の研究機関である国立社会保障・人口問題研究所の日本の将来推計人口の最新データ平成24年1月推計では、平成22年の国勢調査における人口1億2千8百6万人が、今後、人口減少過程に入る見込みをしており、平成42年には1

人口の減少につきまして全国的な問題であり、各地で様々な対策を試みる姿が新聞等で報じられております。

■第5次鹿部町総合計画において平成25年度から5ヶ年で雇用、移住定住対策の検討整備を行い、人口の減少を食い止める対策を進める。子育て世帯への取り組みとして、幼稚園の預かり保育、中学校卒業までの医療費無料化、安心して遊ばせられる広場、公園の充実などを実施。

(答弁者)

川村 茂 町長

まず、東日本大震災から3年を経たということ、映像を見ますと川村議員言われるように川沿い等の部分は、被害が甚大であるというふうに認識しております。この部分は道路整備計画の中で十分に検証を行って参りますが、取付け道路は場所によつては、時間、また多くの費用がかかりますので、精査をして優先順位を検討して参りたいと思つています。



億1千6百62万人で1千四百44万人の減、平成60年では1億人を割って9千9百13万人になるものと推計されております。

このような状況下で、昨年策定した第5次鹿部町総合計画において、計画の策定にあたり策定審議会から住みたい、住み続けられると思えるまちづくりを進めるように答申を頂いたところであります。

いずれに致しましても、人口の減少は難しい課題ではあります。少しでも人口減少を食い止める対策に取り組んで参る所存でございます。

また、子育て世帯が町外に流出しないよう、共働きなどによって就学前に子供を保育できない方に、近隣市町の保育園利用の支援や新たな児童福祉施策として総合こども園の検討もして参りたいと考えておるところであります。

なお、現在の本町の取組状況であります。一つ目として平成20年度から幼稚園の預かり保育の実施、また二つ目として平成20年度から医療費の無料化を小学校就学前までを中学校卒業まで拡大、また三つ目として安心して遊ばせることができる広場・公園の充実などに努めているところであります。

本町の傾向と致しまして、広報しかべの数値ですが、平成21年から26年までの間に393人の減少となっており、転出数は276人になります。転出は個々の問題であるので、難しい問題と思えますが、住みたい、住み続けられるまちづくりということですが、この数値に対して意識し直さなければいけない、注視しなければいけないと思えますが、町長いかがお考えでしょうか。

■再質問、再々質問の要約

(質問者)  
船橋敦子 議員

今の答弁のとおり、人口減少の問題というのは特効薬などが無く、町政執行方針にあったとおり妊娠と共に検診の無料化など、本当に様々な対策が執られておりました。尚且つこのような結果ということは、本当に難しい問題だと思っております。

また、人口の動向ですが、全国的に人口が減少傾向ということ、大変難しい問題だと思っております。私どもとしては、住んでもらいたい、住み続けてもらいたいということですが、町の産業形態というのも一つの大きな部分があると思っております。

■再答弁、再々答弁の要約

(答弁者)  
川村 茂 町長

現在リゾート地区に約530名の方々が住んでおられますが、元々の鹿部町の人口の減少は続いており、その現象を緩やかにしているのは、リゾートの方々の人口増ということですが、この減少の部分を引き上げるのは至難の業ではないかと思っております。

今現在、住んでいる方が、住んでいたい、住み続けたという魅力づくりが第一であろうと思っております。そのためには漁業だけではなく、観光的な部分の推進に現在力を入れており、まだまだ拡大してやって行かなければならない部分であろうと思っております。

私が言ったことが答えになるか分かりませんが、これからも職員共々この問題について、子育て支援等も含めた中で検討して参りたいと思っております。



議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は、6月中旬に開催される予定です。

～傍聴手続きは簡単です～

傍聴席の入り口にある傍聴人名簿に住所と氏名を記入するだけです。



## 民生文教常任委員会 所管事務調査

### ◇民生文教構成委員

委員長 浦 梅吉  
副委員長 川村 裕司  
委員 中川 一  
委員 竹ヶ原公勝  
委員 野田 重毅

### ◇調査事項

鹿部町いこいの湯の管理  
及び運営について

### ◇調査年月日

平成26年2月7日

### ◇調査方法

担当課より提出された関係資料に基づき説明を受け、現地調査を実施した。

### ◇調査結果

鹿部町いこいの湯は、満60歳以上の町内在住者であり、1日100円の利用料を払うことで利用することができ、連日多くの町民で賑わっている。この施設は、以前あった鹿部町老人いこいの家が鹿部バイパス278号の建設に伴い移転新築したもので、平成18年12月20日から供用が開始されている。

当該施設の管理だが、施設職員に関しては管理会社に委託しており、また、毎

年ボイラーの保守点検、水質検査、内装管洗浄委託等を実施し施設管理を行っている。また、維持補修に関しては、随時故障箇所の修繕等を行っているが、供用開始から7年経過していることもあり、年々修繕料は増加の傾向にある。



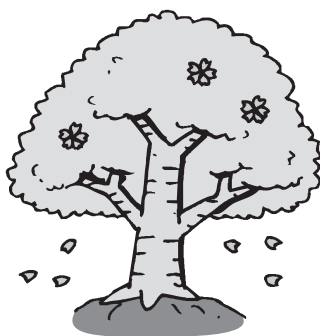
いこいの湯泉源

運営状況は、毎年約2万5千人の利用者があり、約百80万円の利用料収入となっている。平成25年度については臨時休館が続いたこともあり、12月末までを前年度同月と比較すると約千3百人の減、利用料で約14

万円の減となっている。今年度の臨時休館だが、年間で3回、計29日と供用開始以来最多の臨時休館日数となっており、1回目は7月に4日間、2回目は10月に5日間、3回目は11月から12月にかけて20日間となっている。いずれも貯湯槽（泉源から来たお湯を一時的貯めておく場所）の湯量の減少や、貯湯槽内が空になったことで臨時休館としており、その都度業者へ依頼し点検や調査を行い対応してきているが、原因の特定は難しく、可能性の範囲で修繕を行っており、昨年3回目の際には、2百38万3千5百円の補正予算を専決処分し、泉源の浚渫工事を行って復旧しているところである。

鹿部町いこいの湯は、町民の健康維持増進と福祉の向上及び地域活性化を図るための憩いの場所であり、この施設が長期休館となることは、住民サービスの低下に繋がる。供用開始から7年が過ぎていたため、機械設備等の突発的な故障は今後も出てくることと思われる、また、その他のものが

原因の場合についても、現在も早急に対応しているが、より詳細な保守点検等を実施して施設の維持管理の徹底を図り、長期休館とならないための努力を望むものである。



## 渡島町村議会議長会永年勤続表彰

この度、地方自治の振興発展に寄与された功績に対し、渡島町村議会議長会より、伊藤辰男元議員、盛田鐵次議員が表彰され、平成26年第1回定例会に先だち表彰の伝達が行われました。



伊藤辰男元議員  
(議員20年以上)



盛田鐵次議員  
(議員20年以上)

平成26年2月～平成26年4月 本会議及び各委員会等の出席状況

(○は出席、×は欠席、△は遅刻・早退、―は該当なし)

会 議	竹ヶ原公勝	浦 梅吉	吉 英樹	朝井 翔二	盛田 鐵次	野田 重毅	川村 裕司	船橋 敦子	佐藤 頼幸	中川 一
民生文教常任委員会所管事務調査 (2/7)	○	○	―	―	―	○	○	―	―	○
平成26年第1回議員全員協議会 (2/21)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会 (3/7)	○	○	―	―	―	○	○	―	○	―
平成26年第1回定例会 (1日目、3/11)	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○
平成26年予算審査特別委員会 (1日目、3/12)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年予算審査特別委員会 (2日目、3/13)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年第1回定例会 (2日目、3/13)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会 (議会だより編集 4/16)	○	○	―	―	―	―	○	―	○	―
議会運営委員会 (4/18)	×	○	―	―	―	○	○	―	○	―
平成26年第1回臨時会 (4/18)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

## 議会の行事

### 1月

29日 社会福祉法人渡島福祉会理事会 (議長)

### 2月

4日 衆議院議員前田一男新春の集い (議長)

5日 渡島廃棄物処理広域連合議会第1回定例会  
(関係議員)

7日 民生文教常任委員会所管事務調査  
(関係委員)  
北海道議会議員富原亮新春の集い  
(議長)

14日 南渡島消防事務組合議会第1回定例会  
(関係議員)

おおさか誠二新春の集い (議長)

21日 第1回議員全員協議会 (全議員)

28日 南渡島消防事務組合議会第1回臨時会  
(関係議員)

### 3月

6日 社会福祉法人渡島福祉会評議員会  
(議長及び関係議員)

7日 議会運営委員会 (関係委員)  
函館鹿部会親睦会 (議長)

11日 第1回定例会 (1日目) (全議員)

12日 予算審査特別委員会 (1日目) (全議員)

13日 予算審査特別委員会 (2日目) (全議員)  
第1回定例会 (2日目) (全議員)

14日 鹿部中学校卒業式 (議長)

18日 鹿部小学校卒業式 (議長)

19日 しかべ幼稚園卒園式 (議長)

25日 社会福祉法人鹿部町社会福祉協議会評議員会  
(議長)

26日 教職員合同送別会 (議長ほか議員)

### 4月

7日 小学校入学式 (議長ほか議員)  
中学校入学式 (議長ほか議員)

8日 幼稚園入園式 (議長ほか議員)  
林野火災予消防対策協議会 (議長)

9日 交通安全キャラバン隊来町 (議長)

14日 ひまわり団地B棟新築工事安全祈願祭  
(議長ほか議員)

16日 議会運営委員会 (関係委員)

18日 議会運営委員会 (関係委員)  
第1回臨時会 (全議員)

町内会連合会総会 (議長)

21日 南渡島消防事務組合議会第2回臨時会  
(関係議員)

24日 鹿部ロイヤルホテルリニューアルレセプション  
(全議員)

28日 渡島廃棄物処理広域連合議会第1回臨時会  
(関係議員)

30日 鹿部町交通推進委員会常任委員会及び総会  
(議長ほか関係議員)